様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成29年　6月　21日

愛知県知事　殿

提出者
住　所　名古屋市中区錦1-6-17
氏　名　黒金化成株式会社
取締役社長　　増井　　國彦
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 052-231-1267

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	黒金化成株式会社　知立工場
事業場の所在地	愛知県知立市山屋敷町山屋敷25
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	16:化学工業
②事業の規模	製造品出荷額：　265,440万円
③従業員数	58人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	「別紙1のとおり」

（日本工業規格　A列４番）

（第２面）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

知立工場長（廃棄物総括責任者・産業廃棄物処理責任者）

- 工場管理課（産業廃棄物管理担当課長）
  特別管理産業廃棄物管理責任者
- 工場管理課
  産業廃棄物処理施設技術管理者

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（平成28年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	腐食性廃酸
排　出　量	257 t	144 t

（これまでに実施した取組）

1）　含水アルコールは精留装置を用いて再利用可能としている。
2）　溶剤の再利用化を図っている。
3）　発生した廃棄物の濃縮を行い、減量化を図っている。
4）　特定有害廃油は、原料の代替を行っており、減量化がほぼ完了している。
5）　腐食性廃酸、腐食性廃アルカリは、工程を再確認し無害化することにより、廃酸、廃アルカリへ変更できる物は変更する。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	腐食性廃酸
排　出　量	240 t	130 t

（今後実施する予定の取組）

同上

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

分別可能な廃棄物無し。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（平成28年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
特別管理産業廃棄物の量</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
特別管理産業廃棄物の量</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（平成28年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
特別管理産業廃棄物の量</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
特別管理産業廃棄物の量</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
特別管理産業廃棄物の量</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
特別管理産業廃棄物の量</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	－	－
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	－	－
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	－	－
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	－	－
	（今後実施する予定の取組）		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	腐食性廃酸
	全処理委託量	257 t	144 t
	優良認定処理業者への処理委託量	257 t	144 t
	再生利用業者への処理委託量	226 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		

	②計画	【目標】		
		特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	腐食性廃酸
		全処理委託量	240 t	130 t
		優良認定処理業者への処理委託量	240 t	130 t
		再生利用業者への処理委託量	230 t	0 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
		（今後実施する予定の取組）		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

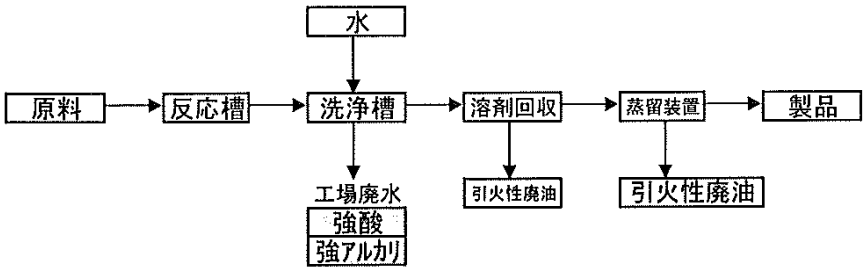
5　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

6　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

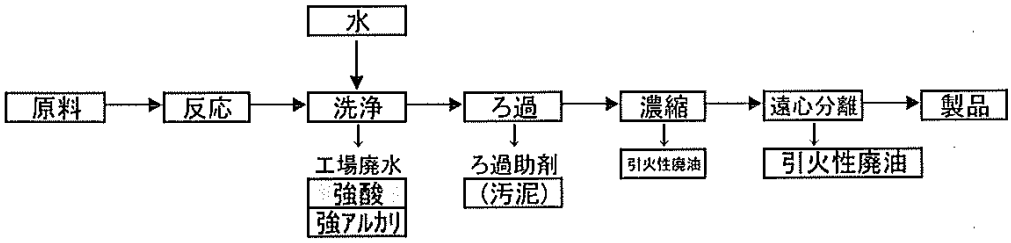
7　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

8　※欄は記入しないこと。

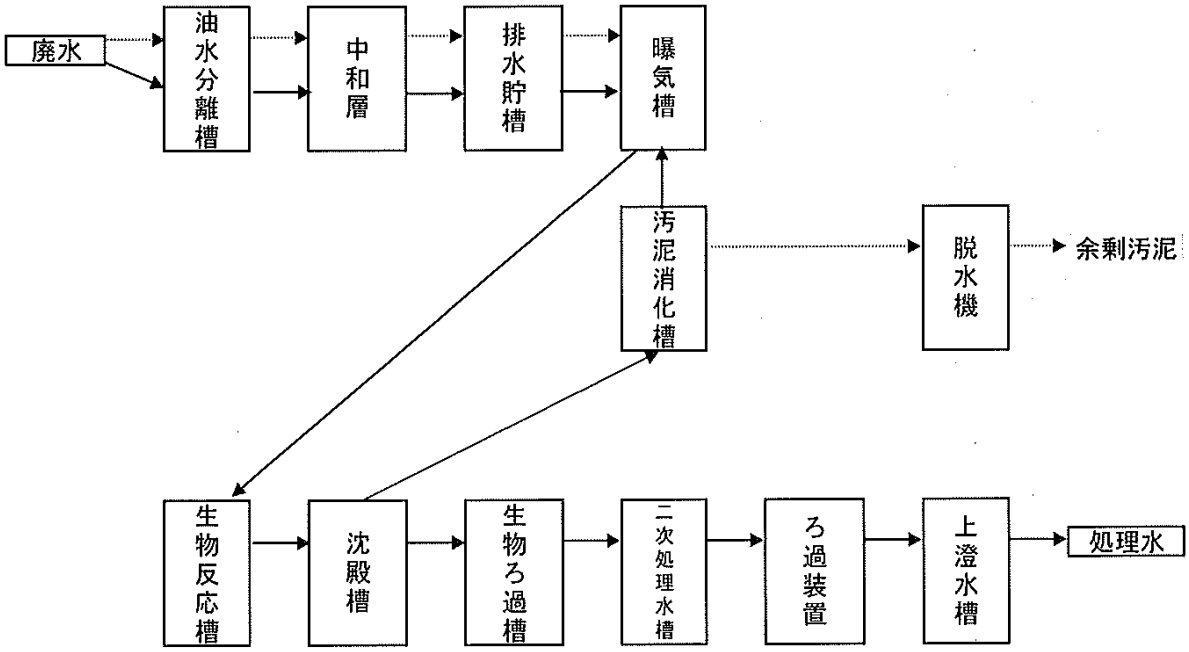
別紙1-1



可塑剤製造フローシート

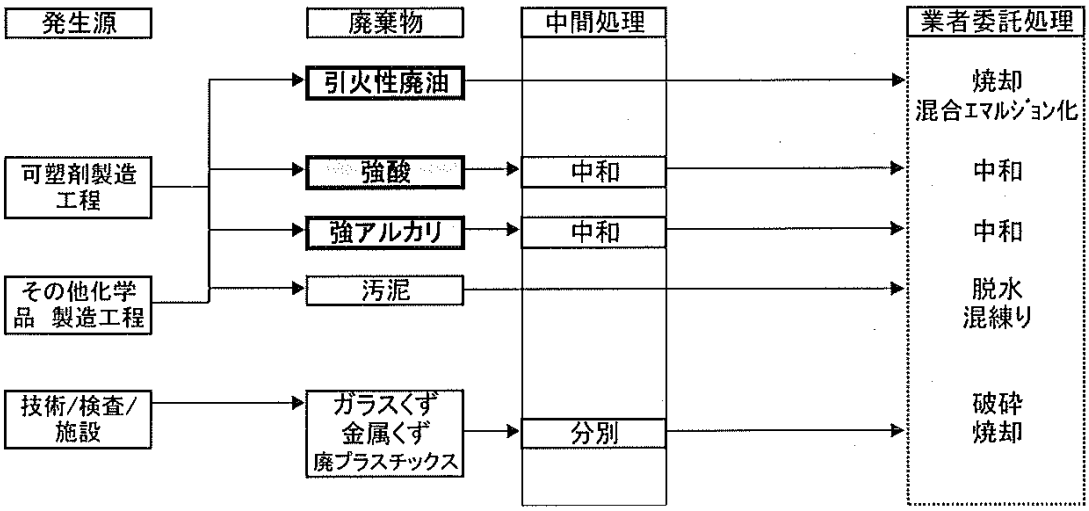


その他化学品製造フローシート



排水処理フローシート

別紙1-2



廃棄物処理フローシート(産業廃棄物)